

①大和川保田遊水地整備事業

受賞機関 国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所
奈良県川西町

キーワード 遊水地、上面利用、地域活性化、地域連携

全建賞審査委員会の評価ポイント

大和川中流域における治水安全度の向上のため保田遊水地を整備し、外水及び内水の双方の対策を実現するとともに、遊水地の上面空間を国内初の国際規格に準拠したオーバルトラック等のスポーツ施設として地元自治体と連携して活用することで、治水機能の確保と地域活性化の両立を図った点が評価された。

1. はじめに

大和川の中流域では、亀の瀬狭窄部により、洪水時に水位が低下しにくいことに加えて、多くの支川が大和川へ合流するため、水害が発生しやすい地形的な特性を有する。

このため、大和川の中流域では、河道掘削等の河川整備に加えて、大和川沿いに5つの遊水地の整備が進められている。

2. 事業の概要

保田遊水地は、大和川沿いに整備する5つの遊水地のうちの1つであり、国土交通省近畿地方整備局が整備を行った。面積約7ha、最大約23万m³の洪水を貯留できる遊水地である。また、大和川の洪水を越流堤から貯留するだけでなく、内水取込樋門から地域の内水も遊水地内に取り込む機能を有する「内外水対応型」の遊水地であり、流域治水における先進事例といえる。

さらに、平常時においても、遊水地内の広大な用地を有効利用するため、川西町が遊水地の上面空間を活用して、国内初の国際規格に準拠したインラインスピードスケート専用のオーバルトラックのほか、芝生広場や駐車場等を整備した。なお、これらの施設は、遊水地内への内水取り込みによる冠水頻度を考慮した配置としている。



保田遊水地の概要

3. 事業の成果

保田遊水地を含む5つの遊水地を整備し、洪水を遊水地内に貯留することで、戦後最大規模の洪水が発生した場合でも、堤防決壊等による外水氾濫が回避される。さらに、遊水地内に地域の内水を取り込むことで、外水に対する効果だけでなく、地域の内水被害軽減にも寄与する。

また、川西町が整備した保田遊水地内の上面空間を、新たなスポーツ体験や交流の場となる「オーバルパークかわにし」として一般開放することで、町内外の住民等が気軽に集い、交流することが可能となり、地域の更なる活性化が期待される。さらに、「地域活性化起業人制度」を活用し、現役の日本代表スピードスケート選手がオーバルパークかわにしの運営や企画に携わり、専門的なノウハウとネットワークを活かすことで、地域活性化の実効性を高めている。



オーバルパークかわにし
(オーバルトラック付近)

4. おわりに

保田遊水地の一般開放に併せて、令和8年5月6日に、川西町主催で「オーバルパークかわにしOPENING FES」が開催され、一般の方もオーバルトラックを含む施設を利用できるようになった。本事業により、大和川流域における治水安全度の向上と地域の更なる発展が期待される。

賛助会員 (株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)建設技術研究所、
パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)丸島アクアシステム

②千代田地区かわまちづくり事業

受賞機関 国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所
福山市

キーワード かわまちづくり事業、福山市営競馬場跡地整備
事業との連携、都市・地域再生等利用区域指定

全建賞審査委員会の評価ポイント

旧競馬場跡地における総合体育館の再整備と連携し、河川空間を一体的に活用できるかわまち広場を整備するとともに、官民連携プラットフォームにおいて多様な主体が参画する運営体制を構築し、かわまち広場及び総合体育館の利用者数の大幅な増加等、事業効果を着実に発現させた点が評価された。

1. はじめに

千代田地区かわまちづくり事業は、広島県福山市の旧市営競馬場跡地における総合体育館の再整備に併せ、隣接する一級河川芦田川において、一体的な広場整備に取り組んだものである。令和2年3月20日の供用開始以降、両施設の利用者数は年々増加し、現在は年間約50万人が訪れるスポーツ・レクリエーションの拠点として、地域の活性化に大きく貢献している。

2. 事業の概要

広大な河川敷を活用した「芦田川緑地かわまち広場」の設計に当たっては、PI（パブリック・インボルブメント）手法により、積極的に市民の意見を取り入れた。芦田川の自然景観を生かしたスケートボードパーク（以下「タカオスケートパーク」という。）、バーベキューテラス、芝生広場や自転車歩行者用通路等は、いずれも市民のアイデアを形にしたものである。広場は、隣接する総合体育館の2階デッキと人道橋でつながっており、利用者が両施設を自由に行き来できる構造となっている。

ソフト面では、都市・地域再生等利用区域の指定に併せて、地域住民、河川利用団体、広場管理者による利用調整の場として「官民連携プラットフォーム」を立ち上げ、多様な主体が柔軟に広場を利用できる仕組みを設けている。



芦田川緑地かわまち広場（空撮）

3. 事業の成果

東京2020オリンピックを契機にスケートボードへの関心が高まり、市内外から多くの若者が集まるようになった。現在、タカオスケートパークの利用登録者数は1,800人を超える。休日には早朝からウォーキングやサイクリングを楽しむ市民の姿も多く見られ、バーベキューテラスでは家族や友人と余暇を楽しむ光景が広がる。芝生広場ではマルシェ、ドッグラン、音楽フェスやトライアスロン大会等、年間を通じて多彩なイベントが行われており、地域のにぎわいの拠点として定着している。



タカオスケートパーク



バーベキューテラス



芝生広場（マルシェの様子）

4. おわりに

これらの取組の背景には、市民有志が立ち上げた「芦活部」の存在がある。芦活部は、福山の歴史・文化と自然の魅力を生かし、地方への人材回帰を促すことを目的に平成24年に設立された任意団体で、芦田川の保全・活用に向けた勉強会、清掃活動や大人が楽しめる運動会等、市民参加型の活動を継続的に行っている。こうした地道な活動が多く市民の共感呼び、芦田川を守り、育て、生かしていこうという機運が醸成され、今回のかわまちづくりに結びついている。今後も官民が一体となって取組を継続し、地域の活性化につなげていく。

賛助会員 ㈱荒谷建設コンサルタント、㈱鴻池組、復建調査設計㈱

③ 玉来川総合流域防災事業

～水辺空間を活かした魅力ある地域の交流空間「たまりバたけた」の整備～

受賞機関 大分県
竹田市

キーワード 玉来川かわまちづくり、たまりバたけた、河川空間のオープン化

全建賞審査委員会の評価ポイント

平成24年九州北部豪雨で被災した文化会館の復興を契機に、県・市・地域住民が協働して公園・道路・河川空間を一体的に整備するとともに、都市・地域再生等利用区域の指定により民間活動を可能とし、持続的ににぎわい創出と地域振興の拠点を形成するかわまちづくりを実現した点が評価された。

1. はじめに

大分県竹田市は、古くから城下町として栄え、歴史的風情や文化資源が多く残されている。その中心的役割を担ってきた文化会館が、平成24年の九州北部豪雨で被災したことから、復興のシンボルとして総合文化ホール「グランツたけた」にリニューアルされた。加えて、隣接する道路や公園の整備も同時に行われ、ここを拠点とするまちづくりが進められてきた。

本事業は、このエリアの魅力を更に高めるため、周辺の玉来川河川敷を含めた空間の一体的な利活用を目指して実施した。大分県・竹田市・地域住民が協働で「かわまちづくり」に取り組むことで、河川空間が持つ自然と調和した景観を活かしながら、地域全体のにぎわいを創出し、地域振興に資する場として再生を図った。

2. 事業の概要

玉来川を市民にとってより親しみやすい憩いの場とするため、河川管理を担う県とまちづくりを推進する市が緊密に連携し、学識経験者、地元自治会、PTA、まちづくり団体、商工会議所等の多岐にわたる関係者が参加する「かわまちづくり検討会」やワーキング部会を設置して議論を交わした。

ワークショップやアンケート調査を通じて地域の意見を丁寧に集め、完成後の利活用や維持管理の観点も踏まえた施設整備計画を策定した。この計画に基づき、県は護岸、遊歩道、階段等の基盤整備を、市はパーゴラ、ベンチ等の施設整備をそれぞれ分担して実施した。



施設整備の状況



事業箇所の空撮

3. 事業の成果

本事業により、親水広場等の施設整備に加え、行政と地域団体・学識者等との協働が活発化し、地元主体のイベント開催や河川空間のオープン化が実現した。この結果、民間事業者の参画による維持管理コストの低減が可能となり、河川空間を最大限に活用したにぎわいの創出と地域振興につながる仕組みを構築できた。

また、完成後は日常の利用にとどまらず、マルシェ、屋外ライブやヨガ教室等、多様なイベントが開催され、県内外から多くの来訪者を集めている。さらに、河川に隣接する公園「竹の子ひろば」と一体となり、家族連れをはじめとする幅広い世代が訪れ、地域に活気をもたらす交流拠点となっている。

4. おわりに

本事業の施設名称は、公募により「たまりバたけた」と決定された。これは、玉来地区の「たま」と、川を意味する「リバー (River)」を組み合わせた造語である。

地域と行政の連携・協働を今後も継続し、「たまりバたけた」が地域に愛される「たまり場」であり続けることを目指していく。



施設整備の状況



「たまりバたけた」を活用したイベント

賛助会員 九州建設コンサルタント(株)、(株)松井組、(株)重松組、(株)明治建設、(株)大丸建設、(有)東建設、(有)グランテック